

# Crystal Ball Readmeリリース11.1.2.3.000

リリース 11.1.2.3.000

製作著作 © 2013

## 目次

目的 .....	1
このリリースでの新機能 .....	1
インストール情報 .....	1
サポートされているプラットフォーム .....	2
サポートされている言語 .....	2
このリリースで修正された問題 .....	2
既知の問題 .....	2
ヒントとトラブルシューティング .....	4
ドキュメントの更新事項 .....	4
ドキュメントのフィードバック .....	4
アクセシビリティの考慮事項 .....	4

## 目的

このドキュメントには、Oracle Crystal Ball製品および関連製品のこのリリースに関する重要な最新情報が含まれています。Crystal Ballをインストールする前に、このReadmeをよくお読みください。

## このリリースでの新機能

Oracle Crystal Ball新機能を参照してください。

このリリースのインストール、アーキテクチャおよびデプロイメントの変更に関する新機能の詳細は、Oracle Crystal Ballインストールおよびライセンス・ガイドを参照してください。

リリース11.1.2.0、11.1.2.1または11.1.2.2からアップグレードする場合に、これらのリリース間で追加された新しい機能のリストを確認するには、累積的な機能の概要ツールを使用します。このツールでは、現在の製品、現在のリリース・バージョン、およびターゲット実装のリリース・バージョンを識別できます。1回のクリックで、ツールは迅速に、現在のリリースとターゲットのリリース間に開発された製品機能の高度な説明のカスタマイズ・セットを生成します。このツールはこちらにあります:

<https://support.oracle.com/oip/faces/secure/km/DocumentDisplay.jspx?id=1092114.1>

## インストール情報

Crystal Ball製品のインストールに関する最新情報は、このReadmeとOracle Crystal Ballインストールおよびライセンス・ガイドを参照してください。また、Crystal Ballのライセンス・コードの取得および適用に関する情報は、License Key

Request Process.htmlを参照してください。Crystal Ballをインストールする前に、ここに記載された情報をよくお読みください。

## サポートされているプラットフォーム

Crystal Ballおよび関連製品のシステム要件とサポートされているプラットフォームの詳細は、*Oracle Crystal Ball* インストールおよびライセンス・ガイドを参照してください。*Oracle Enterprise Performance Management System*の動作保証マトリックスも参照してください。このマトリックスは、OTNの「Oracle Fusion Middleware Supported System Configurations」ページに記載されています:

<http://www.oracle.com/technetwork/middleware/ias/downloads/fusion-certification-100350.html>

Oracle Crystal Ball Enterprise Performance ManagementまたはOracle Crystal Ball Enterprise Performance Management for Oracle Hyperion Enterprise Planning Suiteをインストールしてある場合、互換性に関する追加情報は、*Oracle Crystal Ball Enterprise Performance Management*統合ガイドを参照してください。

## サポートされている言語

Crystal Ballでサポートされている言語の詳細は、*Oracle Crystal Ball* インストールおよびライセンス・ガイドを参照してください。Crystal Ballのこのバージョンのユーザー・インタフェースおよびヘルプはフランス語、ドイツ語、日本語、ポルトガル語、スペイン語に翻訳されています。

## このリリースで修正された問題

この項には、リリース11.1.2.3.000で修正された不具合が含まれます。以前のリリース間で修正された不具合のリストを確認するには、不具合修正ファインダを使用します。このツールでは、所有している製品と現在の実装リリースを識別できます。1回のクリックで、ツールは迅速に、修正された不具合の説明とそれに関連付けられているプラットフォームおよびパッチ番号のカスタマイズ・レポートを生成します。このツールはこちらにあります:

<https://support.oracle.com/oip/faces/secure/km/DocumentDisplay.jspx?id=1292603.1>

- 7403337 - CBツール: 255を超える仮定に対しては、相関マトリックス・ツールを実行できません(フォーマットが要求されていない場合は256)。
- 13802839 - ローカライズ: サポートされている言語のWindows、システム・ロケールおよびMicrosoft OfficeでCrystal Ballを実行する場合に、Crystal Ballの「ようこそ」画面が表示された後、Crystal Ballユーザー・インタフェースが英語に戻ります。
- 13811562 - Microsoft .NET Framework 4.0のみをインストールしてCrystal Ballの実行を試行すると、設定エラーが発生します。

## 既知の問題

このリリースで注意が必要な既知の問題は次のとおりです。

- 7407256 - Crystal Ball Developer Kit: 常に英語のリスト区切り文字(,)および英語の小数点(.)を使用してください。

- 7475110 - 他のOracle EPM製品との統合: Strategic Finance設定ウィザードを使用してStrategic Financeワークシートを作成し、グラフを最小化し、ワークシートを非表示にしてCrystal Ballシミュレーションを実行する場合、シミュレーションを手動では停止できません。

回避策: Crystal Ballコントロール・パネルの「Crystal Ball」ツールバー・ボタン、および「実行」メニューで、グラフを最大化し、ワークシートを表示した状態でのシミュレーションの制御が可能です。

- 7482940 - 他のOracle EPM製品との統合: Strategic Finance設定ウィザードを使用して、サーバー・ベースのエンティティでStrategic Financeワークシートを作成すると、サーバーの実際のURLがリストされません。

ユーザー指定のサーバー名のみが、設定ウィザードの「エンティティの選択」パネルに表示されます。

- 8676929 - 他のOracle Enterprise Performance Management (EPM)製品との統合: 最適な結果を得るために、Crystal Ballの「定義」、「セル・プリファレンス」コマンドを「Smart View」ワークシートに使用しないでください。
- 9074866 - 範囲名: Crystal BallワークブックをMicrosoft Office Excel 2007で再度開く場合に、範囲名が非表示になることがまれにあります。

修正: <http://www.microsoft.com>からダウンロードできる次のMicrosoftアップデートのうち1つをインストールします: Microsoft Security Update for Microsoft Office Excel 2007 (KB969682)、リリース日付: 6/8/2009またはMicrosoft Security Update for Microsoft Office Excel 2007 (KB973593)、リリース日付: 11/9/2009。

- 9550147 - 最高速モード: Microsoft Excel 2002 (XP)およびMicrosoft Excel 2003で、1024文字以上の数式を含むCrystal Ballモデルを最高速モードで実行すると、予期しないエラーが発生することがあります。

回避策: 1024文字未満の数式を使用するか、Microsoft Excelのより最近のバージョンを使用します。

- 10046029 - 64ビットのOptQuest: 指定したシード値について、OptQuestシミュレーションの計算がCrystal Ball Decision Optimizerの32ビットバージョンと64ビットバージョンでわずかに異なり、最適化パスに影響することがあります。

意思決定変数のわずかな変化でもモデルで検知される場合、2つのバージョンの最適解が異なる場合があります。

- 10051948 - 64ビットのCrystal Ball: Crystal Ballの32ビットと64ビットのバージョンでは同じ計算アルゴリズムを使用していますが、モデルのパラメータや他のエッジ条件が極端に大きいか小さいと、バージョン間で結果が異なる場合があります。
- 10284043 - コントロール・パネル: 特定のマシン・システムのタイマー環境では、Crystal Ballのコントロール・パネルとレポートに実行時間0のシミュレーションまたは最適化が表示される場合があります。
- 10303159 - パフォーマンス: Crystal Ball通常モードのシミュレーション実行は、Microsoft Euro Currency Toolsのアドインがロードされている場合、Microsoft Excelでは非常に遅くなります。
- 11065176 - OptQuest: 使用中のワークブックと、開いている別のワークブックの2つがOptQuest設定に関連しておらず、2つ目のワークシートで仮定が定義されている場合、もう一方で仮定が正しく実行されません。

回避策: 2つ目のワークブックを閉じるか、その中の仮定をすべて固定します。

- 16371874 - Oracle Smart View for Office統合: Smart Viewをインストール済で、Microsoft .NET Framework 4.0をMicrosoft Excel構成ファイル(強制ロード)でプライマリに設定している場合に、Smart View拡張機能をロードするように設定するか、「オプション」ダイアログ・ボックスを開いてSmart View拡張機能を表示すると、Microsoft Excel 2007が予期せず終了します。.NET 2.0のロードが許可されている場合、Smart Viewはロードしますが、拡張機能は使用できません。

回避策: Oracle Smart View for Officeの「オプション」ダイアログ・ボックスで、「ログ・メッセージ表示」を「プロファイル」に設定します。

- 16489495 - ローカライズ: Microsoft Windows 7上のMicrosoft Excel 2010で64ビットのドイツ語バージョンのOracle Crystal Ballの実行中に、「仮定の定義」、「相関」、「意思決定変数の定義」および「実行プリファレンス」ダイアログ・ボックス内の数字が、選択したローカライズされた数値形式(123.456.789,00)に従いません。
- 16596912 - 起動: 特定のアドインがMicrosoft Excelにインストールされていると、断続的に次のファイルの欠落エラーが表示される場合があります: ""\*\*\*.xlsx"が見つかりませんでした。"パッチが使用可能です。

# ヒントとトラブルシューティング

このドキュメントにない、インストールと起動に関する問題は、Oracle Crystal Ballインストールレーションおよびライセンス・ガイドのトラブルシューティングに関する項を参照してください。

## ドキュメントの更新事項

### EPM System製品ドキュメントへのアクセス

各Oracle Enterprise Performance Management System製品ガイドの最新版は、OTN WebサイトのEPM Systemドキュメント領域(<http://www.oracle.com/technology/documentation/epm.html>)からダウンロードまたは表示できます。EPM System Documentation Portal(<http://www.oracle.com/us/solutions/ent-performance-bi/technical-information-147174.html>)も使用でき、EPM Supported Platform Matrices、My Oracle Supportおよびその他の情報リソースへのリンクもあります。

配置関連のドキュメントは、Oracle Software Delivery Cloud Webサイト([http://edelivery.oracle.com/EPD/WelcomePage/get\\_form](http://edelivery.oracle.com/EPD/WelcomePage/get_form))からも入手できます。

個別の製品ガイドは、Oracle Technology Network Webサイトからのみダウンロードできます。

### PDFからのコード・スニペットのコピーと貼付け

PDFファイルからコード・スニペットを切り取って貼り付ける際、貼付け操作時に一部の文字が失われる場合があります。これによりコード・スニペットが無効になります。回避策: コード・スニペットをHTMLバージョンのドキュメントから切り取って貼り付けます。

## ドキュメントのフィードバック

製品のドキュメントに対するフィードバックは次の電子メール・アドレスに送信してください。

EPMdoc\_ww@oracle.com

次のソーシャル・メディア・サイトのEPM情報開発をフォローしてください:

- YouTube - <http://www.youtube.com/user/OracleEPMWebcasts>
- Google+ - <https://plus.google.com/106915048672979407731>
- Twitter - <https://twitter.com/HyperionEPMInfo>
- Facebook - <https://www.facebook.com/pages/Hyperion-EPM-Info/102682103112642>
- Linked In - [http://www.linkedin.com/groups?home=&gid=3127051&trk=anet\\_ug\\_hm](http://www.linkedin.com/groups?home=&gid=3127051&trk=anet_ug_hm)

## アクセシビリティの考慮事項

オラクル社では、障害のあるお客様にもオラクル社の製品、サービスおよびサポート・ドキュメントをご利用いただけることを目標としています。EPM System製品は、製品のアクセシビリティ・ガイドに記載されているアクセシビリティの機

能をサポートします。このガイドの最新版は、Oracle Technology NetworkのOracle Enterprise Performance Management System Documentation Library(<http://www.oracle.com/technology/documentation/epm.html>)にあります。

また、このReadmeファイルはHTML形式で提供され、アクセシビリティ機能がサポートされます。

## 著作権情報

Oracle® Crystal Ball Readme,

Copyright © 2013, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

著者: EPM 情報開発チーム

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクルまでご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

### U.S. GOVERNMENT END USERS:

Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

このソフトウェアまたはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアまたはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション(人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む)への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性(redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したこと起因して損害が発生しても、Oracle Corporationおよびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

OracleおよびJavaはオラクルおよびその関連会社の登録商標です。その他の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Intel, Intel Xeonは、Intel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARCの商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD, Opteron, AMDロゴ、AMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に別段の定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。